令和６年度　学校経営案

令和６年４月１日

世田谷区立中里小学校
校　長　　吉野　有佐

中里小、楽しい！大好き！（幸福感）

【中里小学校の教育目標】
〇健康でたくましい子ども〇よく考え 最後までやりぬく子ども◎仲よく助けあう子ども

【中里小学校の重点目標】
1　助け合いながら、最適な課題解決方法を模索し、課題を解決する力を育む。
2　人それぞれのよさや持ち味に気付き、尊重していく力を育む。
3　誰一人置き去りにしない教育を推進する。

中里WAY

【中里 WAY　テーマ】

子どもたちに寄り添い、一人一人を大切にする教育活動

学習指導（学力向上）

個別最適化と協働的な学びのスパイラル

●課題提示　主体的に取り組める課題の設定　→　児童から上がった感想や意見・つぶやきをまとめて、児童が自ら学習問題を作る。
●指示・活動ができる授業規律の構築。
●「個別最適化」と「協働的な学び」のスパイラル。
　課題に対して、自分にあった解決方法を選び、そのなかで考え、課題を解決していく授業実践。
●教室の学習環境
〇ユニバーサルデザイン化された教室
〇シンプルな掲示　〇整った机配置
〇めあてや学習の流れを示した板書

生活指導の充実

児童理解を最優先した共通実践

●「中里小学校　ルール早わかり」の共通指導
・個に応じた支援が必要な場合には、個別対応も模索していく。
●　きまりのＰＤＣＡ
・児童の実態、保護者の要望、教師の意向を踏まえ、柔軟に見直す。
●　保護者との情報共有
・首から上のケガ、友達とのトラブルは、漏れなく保護者と連携。
●Ｑ－Ｕを活用したアセスメント･コンサルティング

学校の特色を推進

特色＝中里小独自の強み

●たてわり班活動（ニコニコタイム）
・異学年交流、学習。
・「特活」指導計画内の授業としても実践
●キャリア教育の継続的な実践
・キャリアパスポートの
●ユネスコスクール
・人権教育・生命尊重・SDGs
●姉妹校山辺小学校との交流
・歴史、郷土愛、SDGs
●地域・学校関係の方々との連携
・学校運営委員会　・学校関係者評価
・学校支援コーディネーターとの協働

組織的な学校運営

チーム中里

●各分掌提案の共通理解・共通実践
・起案→提案→共通実践
（文書（データ）伝達を基本とする）
●迅速な報告・連絡・相談
・縦のライン
　教諭→主任→主幹→管理職
・横のライン
　学年ごと、分掌ごとの報連相
●特別支援教室拠点校の強み
・特別支援コーディネーター、巡回教員
・個に応じた支援
・ＳＣ、関係諸機関との連携

働き方改革（ウェルビーイング）　～教職員が生き生きと子どもたちと接するために～

・残業時間の削減、勤務時間内勤務励行
・留守番電話の設定（１８：００に設定）
・定時退勤日の設定（水曜日）
・面談日時設定　→　基本は勤務時間内
・業務内容のスクラップ＆ビルド
・メンタルヘルスのラインチェック（縦のライン、横のライン）